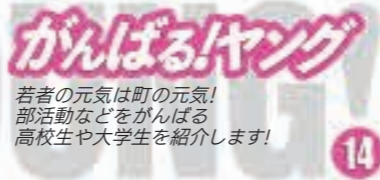




畑沢 □□さん(17歳・東磯ノ目・右)
 朝野 □□さん(17歳・新里町・中央右)
 安部 □□さん(17歳・雀舘・中央左)
 柴田 □□さん(17歳・中川原・左)

五城目高等学校2年、弓道部所属。3か月後に迫った夏の総体に向け、互いに切磋琢磨し合いながら日々の練習に励みます。



若者の元気は町の元気!
 部活動などをがんばる
 高校生や大学生を紹介します!

互いに高め合い 最後の夏へと挑む

五城目高校弓道部に所属する畑沢さん、朝野さん、安部さん、柴田さん。中学時代は別々の部活動に所属していましたが、高校入学を機に、4人そろって同じ道を歩むことになりました。畑沢さんと朝野さんは「体験入部の時に見た先輩たちの弓を引く姿がかっこよかった」、安部さんは「高校入学を機に違う部活に入ってみたかった」、柴田さんは「中学の時に見た弓道のアニメから影響を受けて」と、それぞれ入部のきっかけを話します。

「いつも笑いが絶えない」という4人ですが、弓道のこととなるとみんなが真剣に。弓道部の大半が高校

から競技を始めることもあり、「努力次第で良い成績を取めることができる」という意識を常に持ち、この2年間、日々の練習に励んできました。柴田さんは、「日々の積み重ねが結果として現れるので、また頑張ろうという気持ちになる」と、やりがいを感じながら、さらなる上達を目指します。

4人が出場するのは「近代的競技」で、28センチ先にある直径36センチの的を狙い、的中した矢の数を競い合います。どんなに練習を積んでも百発百中とはいかないそうで、「だからこそ、的中した時の達成感と試合での独特の緊張感がある」と畑沢さんは言います。その緊張感の中で思い通りに矢を射るためにも、正しい姿勢を体に染み込ませることや精神力を

鍛えることが重要で、安部さんは「肩に力を入れすぎないことや、引っぱるでなく、『開く』ということを練習で意識している」と、繊細な感覚を磨きます。また、朝野さんは「的に当たらない日でも前向きに考え、落ち込まないところが強み」と、弓道に打ち込む中での、自身の気持ちの面での成長を実感しています。

4人にとっての高校生活の集大成となる総体まではあと3か月。国体の強化指定選手に選ばれながらも、主将として12人の部員を率いる畑沢さんは、「日ごろから声を出し、チームを盛り上げるということを意識している。チームとして良い成績を上げることと、個人としては国体の代表選手に選ばれるよう頑張りたい」と、今後の抱負を話しました。

令和3年度防火・防災作文コンクール 最優秀賞受賞作品のご紹介

町火災予防組合が実施する「令和3年度防火・防災作文コンクール」で最優秀賞を受賞した小熊ここ菜さん(五城目小学校5年)の作品をご紹介します。

「防火・防災について 考えよう」

防火・防災について私はまず家族に話を聞いてみました。私が生まれた年に、東日本大震災が起こりました。岩手県、宮城県で大きな津波や火災が発生し、12都道府県で2万人近くの死者や行方不明者が出たそうです。

秋田県でもすごく揺れて、お母さんが私を抱っこし、すぐに

外へ逃げました。揺れが長い間続き、すぐに停電が発生しました。テレビも電気もつかず、何の情報も入ってこないため不安な時間を過ごしたそうです。

両親が生まれた年にも、日本海中部地震という大きな地震があったそうですが、話を聞いただけなので、今回の東日本大震災が両親にとって初めての経験となったそうです。

災害は、いつ起こるかかわからない。そこで事前に家族で避難場所を確認しておく、防災グッズをちゃんと用意しておくことなどが大事だと改めて感じました。ラジオ、軍手、救急セット、簡易トイレ、水、マスク、ガスボンベ、ガスコンロ、懐中電灯、乾電池、寒い時期には、防寒具など必要最低限のものを準備し、家族みんなが分かる場所に

置いておきたいと思います。災害の種類によって、安全な避難場所が変わってきます。防災マップやハザードマップを日ごろから見えておき、避難経路や避難場所を確認しておきたいです。

また、災害は家族がそろっている時に発生するとは限りません。学校や職場など家族が別々の場所にいる時に災害が発生したらとても困ります。そのような時のために災害用伝言ダイヤルや、災害用伝言板というものがあるので使い方を知っておきたいと思います。集合場所を家族で事前に話し合っておくことが大事だと思いました。災害はいつ起こるか分かりません。もし起きた時には、自分の命を守るような行動をとりたいです。

五城目小5年
小熊ここ菜さん(大川)

誕生日と春の楽しみ

Last month I travelled up to Oga to see the Namahage Sedo festival. It was an amazing and wonderful experience for me. I was amazed by the Namahage taiko and as the sound went through your body it felt exhilarating and exciting. I even got a photo with the Namahage at the end of the festival. I also celebrated my 29th birthday in the month of February.

先月は、男鹿の「なまはげ紫灯まつり」に行きました。体中に響くようななまはげ太鼓の音色はとても爽快でわくわくしました。祭りの最後にはなまはげと一緒に写真を撮り、先月に迎えた29歳の誕生日のお祝いとなりました。

I am looking forward to the arrival of spring and warmer weather

along with the cherry blossoms. I hope that the cold weather doesn't last too much longer. Take care of yourselves during this time.

春になって、暖かい桜の季節を迎えることを今からとても楽しみにしています。また、この寒さがあまり長続きしないことを願っています。

みなさん健康にお気をつけてお過ごしください。それではまた来月お会いしましょう。



なまはげと一緒に写真を撮りました!

ケリーの ごじょうめ 奮闘記

14



Kelly Joan Morgon
ケリー・ジョアン・モルゴン

2020年12月に町の英語指導助手(ALT)に着任しました。出身地は、オーストラリアのノーザンテリトリー州のハンプティドゥーという町です。得意なスポーツはネットボール/よろしくお願ひします(≧▽≦*)



湖東3町エコ標語コンクール

- ❖2年生 馬場目川河川浄化の部
 - ▶最優秀賞 佐藤 文直(五城目小2年)
- ❖6年生 馬場目川河川浄化の部
 - ▶最優秀賞 石川 里優(五城目小6年)

防火・防災作文コンクール

- ▶最優秀賞 小熊ここ菜(五城目小5年)

第62回秋田県児童生徒美術展

- ▶話題作 舘岡 紅花(五城目小6年)

がんばる人() (敬称略)

第32回MOA美術館児童作品展

- ❖絵画の部
 - ▶秋田市議会議長賞 石井 奏多(五城目小1年)
 - ▶銀賞 宮城 莉愛(五城目小1年)